

## 白石市学力向上プロジェクトの取り組み



### 白川小学校 学力を支える力を伸ばす

白川小学校は小規模校のよさを生かし、「全校縦割り遊び」を行っています。昼休みに縦割りリーダーの6年生を中心に、学年の異なる児童と一緒に1つの遊びを楽しみます。

先日は「ケイドロ（鬼ごっこ）」と「ドッジボール」を行いました。どちらもやり慣れた遊びですが、学年の異なる児童が交じり合っただけで遊ぶ中では、ボールを当てられ落ち込んだ下級生にそっと寄り添ったり、下級生が楽しめるようにと力を加

減したりする上級生の姿が見られました。また、自分の技や力がどこまで上級生に通用するか全力で挑戦する下級生の姿があり、このような時間・活動は、児童にとって貴重な体験です。

「全校縦割り遊び」の中で培われる自己有用感、意欲、判断力、リーダーシップ、協調性、思いやりなどは、学力にも関連してくるものです。今後もさまざまな活動を通して学力を支える力の育成に努めていきます。



1・2 全校縦割り遊びでケイドロやドッジボールをする様子

☎学校管理課 ☎22-1342

### 深谷小学校 「ルルブルふれあいウィーク」の取り組み

深谷小学校は、毎月第3日曜日の家庭の日を含む1週間を「ルルブルふれあいウィーク」としています。これは、基本的な生活習慣の定着促進のための活動「ルルブル」（写真参照）と、読書や手伝い、家族との時間といった心を豊かにする「ふれあいづくり」に家庭で取り組むものです。

この期間は、児童が生活習慣改善のために就寝時間などをカードに記録します。また、生活習慣や触れ合いに関する質問に対して、親子で話題に

して答えます。その回答や取り組みを学校便りやPTA活動で紹介するなど、学校と家庭で共有し活用しています。

取り組みを始めて2年目になり、児童の記録カードには家族の温かいメッセージがあふれています。生活習慣の改善や家族の時間を大切にする様子もうかがえます。今後も児童の心身共に健やかな成長を願い、学校と家庭の連携を深めていく活動を推進していきます。



▲宮城県が発行するルルブルチャレンジガイド



▲ルルブルふれあいウィークに記入するカードと活動を周知するおたより



▲ふれあいづくりで家族で楽しんでいる遊びを紹介してもらいました

## 白石の農×育てる人

### ～農家の輝く姿を情報発信！～



2カ月に1回、白石のすてきな農家さんを紹介していきます！  
今回は、肥料高騰などの困難に直面しながらも、諦めずに努力を続けている「和牛の繁殖農家」の古山さんと木村さんに話を聞きました。

※「繁殖農家」とは、子牛を産ませ生後8～10カ月飼養し、家畜市場などに出荷している方のこと。

☎農林課 ☎22-1253

### 自分だけでなく、周りも笑顔にしたいです

古山さんは、学生時代に牛の人工授精師の資格を取得するなど、畜産分野の知識と技術を磨いてきました。現在は、市内でササニシキなどを栽培しながら、繁殖農家の和牛改良組合長として活動しています。

古山さんの飼育頭数は約20頭。飼育では、妊娠率向上のためのエコー検査による「妊娠鑑定」と「品質」にこだわり、子牛に与える餌



▲本年度の宮城県総合畜産共進会への出品牛（いとちどり）

はアメリカ産の牧草を食べさせています。また、7月上旬に開催された「令和4年度宮城県総合畜産共進会（肉用牛の部）」をはじめ、平成29年には全国大会にも出場しています。

古山さんは「自分が育てた牛で多くの方を喜ばせ、これまで磨いてきた技術を継承していきたい」と話してくれました。



ふるやま ゆかか  
古山 豊さん

### 自分を成長させることが、成功への近道だと思っています



きむら しょう  
木村 翔さん

飲食店で店長として勤務していた木村さんは、畜産業を営んでいた祖父母が高齢により続けられなくなったため、「途絶えさせてはいけない」という強い思いから、農業未経験のまま引き継ぎました。人との関わりがない孤独な農作業にやりがいを見いだせない時期もありましたが、経営者として事業成功のために挑戦し続けました。

現在は、引き継いだ頭数の2倍の約150頭を飼育し、さらなる事業規模の拡大に挑戦しています。飼育で大切にしていることは「品質」を高めるための体調管理。特に、子牛は体が弱いため適切な対応が求められます。木村さんは「自身の飼育牛がほかに劣らない『品質』に育て上げられるよう、繁殖農家、経営者として成長していきたい」と話してくれました。



▲牛の世話をする木村さん